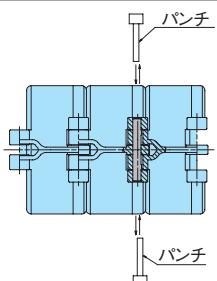


### 3. チェーンの分解・組立

#### 1) 継手ピンがDピンタイプ (TPUN555 除く)

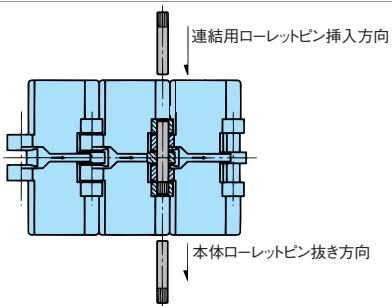
チェーンのどの部分からでも、分解できます。また、ピンは、左右どちらからでも抜差しできます。



#### 2) 継手ピンがローレットピンタイプ

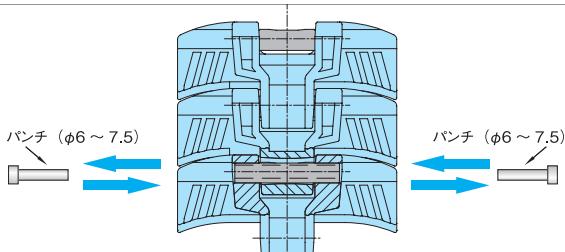
分解時はローレット加工していない側の端部にパンチを当てて抜いてください。再度連結する場合はローレット加工している側の端部にパンチを当てて連結してください。

(TTPDH、TTPDH-LBP のみローレット側は再連結しても同一方向になります。)



#### 3) TTUPM-H

継手ピンがDピンタイプのため、左右どちらからでも抜き差し出来ます。なお、外径 $\phi$ 6～7.5のパンチをご使用ください。挿入不足、挿入すぎにはご注意ください。



外径 $\phi$ 6以下、 $\phi$ 7.5以上のパンチを使用するとチェーンおよびピンが損傷します。

#### 4) TN、TNU、TRU、TP-1873G、TP-1873T、TP-1843G

ジョイント部の、ピンと外プレートの片側とはルーズフィットとなっています。ジョイント部以外のところで分解する場合は、チェーンバイスなどを用いて、一対のピンを平行に抜いてください。なお、ジョイント部以外で分解したリンクは再使用できません。

#### 5) ST、RT

ピンとプレートは、すべてルーズフィットで、チェーンのどの部分からでも分解できます。また、ピンは、左右どちらからでも抜差しできます。

#### 6) TO、TU

トッププレートの反対側よりピンを抜いてください。

#### 7) TS

チェーンのどの部分からでも分解できます。割ピン側よりピンを抜いてください。

※ TTP形、TT形、TPS-KU形、TPU-KV形、TRU形、TTKU形、TS形は248、249頁の専用切継工具もご活用ください。

#### 8) TTKU

ジョイント部のピンと外プレートの片側とは、ルーズフィットとなっています。ジョイント部以外のところで分解する場合は、ピンを締鉛していますので、グライダーでピンの端部を削り、一対のピンを平行に抜いてください。なお、ジョイント部以外で分解したリンクは、再使用できません。

#### 9) TPUN555

ピン挿入方向は一方方向です。

挿入方向と反対側のピン端面にパンチを当てて、抜いてください。

#### 10) プラクレセント



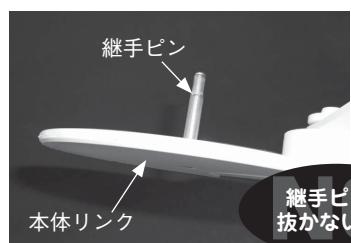
1. 継手ピンからスナップピンを抜き、オフセットリンクを外してください。



2. オフセットリンクを90度回転させてください。



3. 継手ピンを本体リンクごと前のリンクから抜き取ってください。



注意：分解の際、継手ピンを本体リンクから抜かないでください。